

授業科目 評価学演習 II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
押木 利英子、星 孝、菅原 和広、齋藤 慧		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60（基本評価B：20）
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】					
専門基礎分野と2年次前期の専門分野で修得したことを基礎として、徒手筋力検査法の応用力を高め、筋に関する検査測定評価の「思考」と「技術」を練り上げる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 徒手筋力検査法の応用を模倣する。					
2. 筋に関する検査測定評価について説明できる。					
3. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	徒手筋力検査法（股関節）			1, 2, 3	演習
2	徒手筋力検査法（股関節・膝関節）			1, 2, 3	演習
3	徒手筋力検査法（膝関節、足関節）			1, 2, 3	演習
4	徒手筋力検査法（足関節・足部）			1, 2, 3	演習
5	徒手筋力検査法（肩甲骨）			1, 2, 3	演習
6	徒手筋力検査法（肩関節）			1, 2, 3	演習
7	徒手筋力検査法（肩関節、肘関節）			1, 2, 3	演習
8	徒手筋力検査法（肘関節、手関節）			1, 2, 3	演習
9	徒手筋力検査法（体幹）			1, 2, 3	演習
10	徒手筋力検査法（体幹）			1, 2, 3	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		新・徒手筋力検査法 第8版	Hislop HJ	協同医書出版社	2008・7,875円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
実技試験、定期試験（筆記）、その他。		9月の2年次後期専門専攻科目の授業オリエンテーションで、クラス・グループとスケジュール、授業を受ける際の服装などの注意事項を説明する。			